



## 2025年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 株式会社アプリックス 上場取引所 東  
 コード番号 3727 URL https://www.aplix.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉林 聡子  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 担当部長 (氏名) 岩井 俊輔 (TEL) 050-3786-1715  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益合 計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	776	△10.5	42	128.4	46	158.3	35	233.7	35	232.7	35	—
2024年12月期第1四半期	867	△10.5	18	△79.9	17	△88.2	10	△92.2	10	△92.2	△10	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	1.63	1.62
2024年12月期第1四半期	0.48	0.48

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	3,795	2,553	2,553	67.3
2024年12月期	3,885	2,594	2,594	66.8

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年12月期年間配当(期末)の内訳 普通配当 : 2円50銭 初配記念配当 : 1円00銭

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益	
	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	—	—	—	—
通期	3,767	1.6	165	△27.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社 (社名) 、除外 1 社 (社名) 株式会社H2

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期1Q	21,886,130株	2024年12月期	21,886,130株
② 期末自己株式数	2025年12月期1Q	129,687株	2024年12月期	129,687株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期1Q	21,756,443株	2024年12月期1Q	22,153,234株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)における我が国の経済は、内閣府による2025年3月の月例経済報告では「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。」と報告されています。先行きについては、「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」と報告されており、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社は当第1四半期連結累計期間において以下の施策に取り組んでまいりました。

なお、セグメント間の内部売上収益は、セグメントの売上収益に含めております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### <ストックビジネス事業>

ストックビジネス事業においては、主に2025年2月に新サービスとして発表したリテールメディアプラットフォーム「BRIDGE AD」のサービスインに向けてロケーションオーナーやアプリオーナー等の関係各所との交渉や契約締結、またシステム面の構築に努めました。また、これまでと同様に連結子会社であるスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社における音声・通信サービスの提供、クラウドSIMを用いたモバイルWiFiルーター「THE WiFi」の拡販に注力するとともに、本事業は収益の大半が月額利用料金等からなるストック性の高い事業であることから、顧客が満足して継続利用できるような通信環境やサポート等のサービス品質の向上に取り組みました。なお、「THE WiFi」については株主に対する「THE WiFi」の浸透を図ることを目的として、本年4月に株主限定プランとして来年2026年3月末まで無料で利用可能な特別プランを先着1,000名限定で実施しました。これらと併せて通信機能付きAIドライブレコーダー「AORINO」の取次店や販売代理店、OEM先の開拓を行うとともに、法人向けサービス「AORINO Biz」の拡販に注力しました。

また、前連結会計年度において完全子会社化した株式会社H2、及びその子会社である株式会社スマートライフが展開していた光回線・プロバイダー関連サービスの拡販に取り組みました。なお、株式会社スマートライフについては2024年10月1日付で実施した株式会社H2による吸収合併に伴い、また株式会社H2については2025年1月1日付で実施したスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社による吸収合併により、それぞれ同日付で解散しております。

#### <システム開発事業>

システム開発事業においては、ロケーションビーコン「MyBeaconシリーズ」の拡販に努めたほか、Bluetooth Low Energy通信機能を搭載するハードウェアの試作開発支援等、組込み開発技術を生かしたシステム開発を行いました。また、クラウド関連システムの開発や顧客のニーズに応じたフロントエンドシステムやバックエンドシステムの開発支援やテクニカルサポート等を行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間のストックビジネス事業の売上収益は680,105千円(前第1四半期連結累計期間の売上収益726,500千円)、システム開発事業の売上収益は98,085千円(前第1四半期連結累計期間の売上収益145,034千円)となりました。

事業損益につきましては、ストックビジネス事業の事業利益は94,740千円(前第1四半期連結累計期間の事業利益72,310千円)、システム開発事業の事業損失は281千円(前第1四半期連結累計期間の事業利益6,609千円)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間においてセグメント利益の調整額が51,625千円(前第1四半期連結累計期間のセグメント利益の調整額60,166千円)発生しております。セグメント利益の調整額は、四半期連結損益計算書の事業利益と調整を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は776,087千円(前第1四半期連結累計期間の売上収益867,818千円)となりました。

事業損益につきましては、42,832千円の事業利益（前第1四半期連結累計期間の事業利益18,752千円）となりました。

営業損益につきましては、47,962千円の営業利益（前第1四半期連結累計期間の営業利益18,753千円）となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、35,360千円（前第1四半期連結累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益10,628千円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して89,993千円減少し、3,795,717千円となりました。これは、現金及び現金同等物が92,430千円、営業債権及びその他の債権が16,066千円減少、棚卸資産が25,643千円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して49,206千円減少し、1,242,003千円となりました。これは、借入金24,265千円、営業債務及びその他の債務が20,444千円減少したこと等によるものです。

資本につきましては、前連結会計年度末と比較して40,787千円減少し2,553,714千円となりました。これは、利益剰余金が39,989千円減少したこと等によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率につきましては、前連結会計年度末と比較して0.5ポイント増加し、67.3%となりました。

当第1四半期連結会計期間末のキャッシュ・フローにおける連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して92,430千円減少し1,231,127千円となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、24,169千円（前第1四半期連結累計期間は20,475千円の減少）となりました。これは主に税引前四半期利益46,472千円、減価償却費及び償却費35,824千円、法人所得税の支払額31,068千円、棚卸資産の増加25,643千円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、29,509千円（前第1四半期連結累計期間は9,111千円の減少）となりました。これは主に無形資産の取得による支出29,187千円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、86,810千円（前第1四半期連結累計期間は481,255千円の増加）となりました。これは配当金の支払額57,377千円、長期借入金の返済による支出24,999千円等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月14日付「2024年12月期決算短信〔IFRS〕（連結）」において公表した数値から変更ありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,323,558	1,231,127
営業債権及びその他の債権	467,120	451,053
棚卸資産	85,292	110,936
未収法人所得税	445	487
その他の流動資産	19,737	24,064
流動資産合計	1,896,155	1,817,669
非流動資産		
有形固定資産	2,181	1,953
使用権資産	25,703	22,320
のれん	893,046	893,046
無形資産	896,637	893,610
その他の金融資産	141,921	142,051
契約コスト	30,066	25,065
非流動資産合計	1,989,556	1,978,048
資産合計	3,885,711	3,795,717

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	320,859	300,414
借入金	197,320	197,491
リース負債	17,868	17,947
未払法人所得税	30,698	16,779
その他の金融負債	39,988	32,466
その他の流動負債	76,595	104,106
流動負債合計	683,329	669,205
非流動負債		
借入金	321,137	296,699
リース負債	14,329	9,842
引当金	9,927	9,927
その他の金融負債	61,628	61,656
繰延税金負債	199,530	193,534
その他の非流動負債	1,328	1,138
非流動負債合計	607,880	572,798
負債合計	1,291,209	1,242,003
資本		
資本金	62,556	62,556
資本剰余金	1,842,759	1,841,961
利益剰余金	715,660	675,670
自己株式	△26,474	△26,474
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,594,501	2,553,714
資本合計	2,594,501	2,553,714
負債及び資本合計	3,885,711	3,795,717

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	867,818	776,087
売上原価	668,645	524,307
売上総利益	199,173	251,779
販売費及び一般管理費	180,420	208,946
事業利益	18,752	42,832
その他収益	0	5,129
その他費用	—	—
営業利益	18,753	47,962
金融収益	145	1,468
金融費用	908	2,958
税引前四半期利益	17,989	46,472
法人所得税費用	7,393	11,112
四半期利益	10,595	35,360
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	10,628	35,360
非支配持分	△32	—
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	0.48	1.63
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	0.48	1.62



## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期利益	10,595	35,360
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	△20,776	—
税引後その他の包括利益	△20,776	—
四半期包括利益	△10,180	35,360
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△10,147	35,360
非支配持分	△32	—

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2024年1月1日現在 残高	51,456	1,935,757	603,558	△26,461	△15,352	2,548,958	5,682	2,554,641
四半期利益	—	—	10,628	—	—	10,628	△32	10,595
その他の包括利益	—	—	—	—	△20,776	△20,776	—	△20,776
四半期包括利益合計	—	—	10,628	—	△20,776	△10,148	△32	△10,180
所有者との取引額等								
資本剰余金から利 益剰余金への振替	—	△543	543	—	—	—	—	—
連結子会社株式の 取得による持分の 増減	—	349	—	—	—	349	△5,650	△5,301
自己株式の取得	—	—	—	△36	—	△36	—	△36
所有者との取引額等 合計	—	△194	543	△36	—	313	△5,650	△5,337
2024年3月31日現在 残高	51,456	1,935,563	614,730	△26,497	△36,128	2,539,124	—	2,539,124

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計	
2025年1月1日現在 残高	62,556	1,842,759	715,660	△26,474	2,594,501	2,594,501
四半期利益	—	—	35,360	—	35,360	35,360
四半期包括利益合計	—	—	35,360	—	35,360	35,360
所有者との取引額等						
配当金	—	—	△76,147	—	△76,147	△76,147
資本剰余金から利 益剰余金への振替	—	△797	797	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△797	△75,350	—	△76,147	△76,147
2025年3月31日現在 残高	62,556	1,841,961	675,670	△26,474	2,553,714	2,553,714

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	17,989	46,472
減価償却費及び償却費	14,959	35,824
賠償金	—	△4,925
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△26,406	20,992
棚卸資産の増減 (△は増加)	△1,424	△25,643
契約コストの増減額 (△は増加)	△136	5,000
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△19,792	△20,444
その他	3,687	△694
小計	△11,123	56,581
利息及び配当金の受取額	6	268
利息の支払額	△460	△1,612
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,897	△31,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,475	24,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△776	—
無形資産の取得による支出	△5,428	△29,187
敷金及び保証金の差入による支出	△2,906	△322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,111	△29,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入による収入	491,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△24,999
リース負債の返済による支出	△4,407	△4,434
配当金の支払額	—	△57,377
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5,301	—
その他	△36	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	481,255	△86,810
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	93	△280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	451,761	△92,430
現金及び現金同等物の期首残高	1,807,658	1,323,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,259,420	1,231,127

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別セグメントから構成されており、「ストックビジネス事業」と「システム開発事業」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、事業利益※ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

※ 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	726,384	141,434	867,818	—	867,818
セグメント間の内部売上 収益	115	3,600	3,715	△3,715	—
計	726,500	145,034	871,534	△3,715	867,818
事業利益（△は損失）	72,310	6,609	78,919	△60,166	18,752
その他収益					0
その他費用					—
営業利益					18,753
金融収益					145
金融費用					908
税引前四半期利益					17,989

(注1) 事業利益（△は損失）の調整額△60,166千円には、セグメント間取引消去1,023千円、各事業セグメントに配分していない全社費用△61,190千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	680,101	95,985	776,087	—	776,087
セグメント間の内部売上 収益	4	2,100	2,104	△2,104	—
計	680,105	98,085	778,191	△2,104	776,087
事業利益(△は損失)	94,740	△281	94,458	△51,625	42,832
その他収益					5,129
その他費用					—
営業利益					47,962
金融収益					1,468
金融費用					2,958
税引前四半期利益					46,472

(注1) 事業利益(△は損失)の調整額△51,625千円には、セグメント間取引消去5,087千円、各事業セグメントに配分していない全社費用△56,712千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。